

今年梅雨も早く終わり、暑い日が続いています。子ども達も水遊びができることを楽しみにしています。この時期にしか味わえない、冷たい水の気持ち良さや、泥などの感触を全身で感じ、五感を刺激された子ども達は、「なんでだろう」「もっとやってみよう」と頭の中は「？」と「！」がいっぱい。友達や年上の子がやっていることを真似したり、上手くできたことを友達や保育士に伝えたりしながら、興味の幅をどんどん広げていって欲しいと思います。



4歳は友達同士相談しながら、大きな山を作り、周りにできた溝に水を流しています。「何してるの?」「入れて!」のやり取りも当たり前になるようになりました。「こうしよう」「じゃあ水持ってくるね」と協力して楽しんでいます。



5歳児は今までの経験から自分のイメージしたものを再現しようと考え中。「どうやってやるの?」「こうしたらいいんじゃない?」と意見を交換しながら、理想に近づけています。



3歳は好きな遊びを近くの友達と共感あって楽しんでいます。一人がバシャバシャ始めると、真似をして盛り上がりだしたり、泥団子を作るのをじっと見て、同じように一緒になってやってみたりと、一人より友達や保育士と一緒に遊ぶことを楽しめるようになってきました